

(3) 通学方法について(現状説明)

・現時点での各地区の通学手段

【資料3-1】学校みらい構想概要版 P3(望ましい通学の方法と費用負担や補助)

【資料3-2】霊峰中学校から 5km 圏内(直線距離)地図

【資料3-3】柘植中学校通学区から霊峰中学校までの距離・算出用地図

※算出用地図はあくまでも目安の距離を算出するものであり、通学ルートを定めるものではありません。

・利用できる公共交通手段の現状

【資料3-4】行政バス・JR 関西線時刻表

・交通安全プログラムで対応する箇所

【資料3-5】2025 年度 伊賀市通学路点検箇所・対策一覧表

・想定される通学路・通学手段

<スクールバス>

1路線あたり必要な経費は概ね 500 万円前後必要。

昨今、運転手不足(担い手不足・高齢化等)、バス車両不足により運行会社は非常に厳しい状態にある。

<行政バス>

現在、小杉地区～柘植小学校まで 12 名が乗車。バスの定員が 14 名であることから、中学生が乗車すると定員オーバーとなってしまう。

<JR 関西線>

始業時間など時間調整が必要。定期券購入費用は補助対象。

<徒歩／自転車>

「遠距離通学(5km 以上)」に該当する場合は補助対象。

・伊賀市における負担軽減の取組

【資料3-6】遠距離通学補助金制度

・現在は合併前の各地域の制度がそのまま残っている状態。

・令和8年度に向け見直しを行う見込み。全校で条件等を統一していく方針。

情報をお持ち帰りいただき、各団体で意見等の集約

【資料3-7】回答用シート

※熱中症対策については、全市を対象とし別途検討中です。